

郵政民営化委員会（第165回）議事要旨

日 時：平成29年4月13日（木）9：30～11：10

場 所：永田町合同庁舎3階 郵政民営化委員会室

出席者：岩田委員長、米澤委員長代理、老川委員、清原委員、三村委員

株式会社ゆうちょ銀行 池田取締役兼代表執行役社長、

田中取締役兼代表執行役副社長

株式会社かんぽ生命保険 植平専務執行役、内木場執行役、満武商品開発部長

1. 概要

- (1) 株式会社ゆうちょ銀行から、新規業務（口座貸越による貸付業務、その他の銀行業に付随する業務等、資産運用関係業務）の認可申請について説明があり、質疑応答を行った。
- (2) 株式会社かんぽ生命保険から、新規業務（終身保険等の見直し及び法人向け商品の受託販売の充実）の認可申請について説明があり、質疑応答を行った。

2. 委員会での説明・意見等

(1) 株式会社ゆうちょ銀行の新規業務の認可申請について【資料165-1-1、2】

① 説明の概要

- ・ ビジネス展開のコアとなる、決済サービスの拡充、地域金融機関との連携、資産運用の高度化・多様化を一層推進していく観点から、足元の金融経済状況も勘案した上で、ゆうちょ銀行としての優先順位を検討し、以下の業務を行いたい。
 - イ 口座貸越による貸付業務
 - ロ その他の銀行業に付随する業務等
 - ハ 資産運用関連業務
- ・ 平成24年の新規業務の認可申請については、マイナス金利政策による超低金利など、金融情勢等が大きく変化していることを踏まえ、取り下げた。

② 委員からの意見等

- ・ 口座貸越による貸付業務について、費用と収益はどのようなものか。また、当該業務における需要見込みについてどのように算出したのか。
(⇒収益は利息収入で費用はシステム改修費及び保証会社に支払う保証料等であり、業務開始5年後は黒字の想定。また、需要見込みについては、稼働口座数等により算出している。)
- ・ 口座貸越による貸付業務に係る利用者への説明はどのように考えているのか。
(⇒丁寧な説明資料を作成し、郵便局での説明態勢についても整えていきたい。)
- ・ 地域への資金の循環等に関連して、例えば地域におけるインフラ投資についてどのようなになっているのか。
(⇒地域金融機関や地方自治体とコミュニケーションを取っており、地域の資金ニーズを最も把握している地域の金融機関と一緒に取り組んでいきたい。)
- ・ その他の銀行業に付随する業務等として、税公金の取りまとめ業務を行いたいとの

ことだが、地方自治体のニーズはどの程度あるか。

(⇒地方自治体には様々なニーズがあり、金融機関等と知恵を出し合って取り組んでいきたい。)

(2) 株式会社かんぽ生命保険の新規業務の認可申請について【資料165-2】

① 説明の概要

- ・ 低金利環境の継続や平均寿命の延伸、医療環境の変化等の経営環境を踏まえ、終身保険・定期年金保険及びこれらに付加する入院特約等について、解約返戻金を抑えることにより保険料を低廉化するなどの見直しを行うとともに、入院特約等について、手術保険金の支払対象等の見直しを行いたい。
- ・ 現在既に行っている他の生命保険会社の法人向け商品の受託販売の充実を図るため、第一生命保険の経営者向け介護保障定期保険の受託販売を行いたい。

② 委員からの意見等

- ・ 定期年金保険の見直しは、長寿社会に対応したものか。
(⇒加入年齢範囲や年金支払開始年齢を現行よりも高年齢に見直すなど、長寿社会に対応した商品としている。)
- ・ 現行の特約を付加している既契約者が、見直し後の特約に入る場合の方策を検討しているか。
(⇒見直し後の特約への切替制度を設ける予定。)
- ・ 保険料が安くなる一方、解約返戻金が低くなるということについて、顧客への説明を丁寧に行っていただきたい。
(⇒顧客ニーズの把握と意向確認が大事になる。適切に商品を選択していただけるよう、丁寧な説明を行いたい。)

以上

(注) 議事要旨は事後修正の可能性があることに御留意ください。また、詳細については追って公表される議事録を御覧ください。